

景気の動き

四 国（管内経済情勢報告・四国財務局）

項 目	7月判断	前回（4月判断）
総括判断	緩やかに持ち直している	同左
個人消費	緩やかに持ち直している	同左
生産活動	一進一退の状況にある	同左
雇用情勢	持ち直しつつある	持ち直しの動きに一服感がみられる
公共事業	前年度並みとなっている	前年度を上回っている
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている
設備投資	8年度は前年度を下回る見込み	7年度は前年度を上回る見込み
企業収益	8年度は増益見込み	7年度は減益見込み
企業の景況感	「下降」超	同左

〔四国財務局 2026年8月5日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項 目	8月月例	7月月例
基調判断	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。 （先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。）	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。
個人消費	持ち直しの動きがみられる。	同左
設備投資	持ち直している	同左
住宅建設	総じて横ばいとなっている	弱含んでいる
公共投資	堅調に推移している	同左
輸出入	輸出	持ち直しの動きがみられる
	輸入	このところ持ち直しの動きがみられる
	貿易・サービス収支	同左
生 産	横ばいとなっている	同左
企 業	収益	改善しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある
	業況判断	改善の動きがみられるが、中東情勢の影響を注視する必要がある
	倒産件数	同左
雇用情勢	おおむね横ばいとなっている。ただし、先行きについてはやや慎重な見方となっており、中東情勢の影響を注視する必要がある。	同左
物 価	国内企業物価	改善の動きがみられる
	消費者物価	同左
	このところ上昇テンポが鈍化している	上昇している
	緩やかに上昇している	同左

〔内閣府 2026年8月27日発表〕